

CIGS ワークショップ

「グローバル化・学際化の中で発展するロボット産業と日本の課題」

『本ワークショップの概要説明』

【要旨】

日時： 2017年12月18日

場所： キヤノングローバル戦略研究所 会議室

【発表：栗原 潤（キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹）】

本日のワークショップでは、AI ロボット産業について皆様と一緒に議論を進めたい。AI を初めとするロボットの分野における、日本の厳しい状況を座視しているわけにいかない。マスコミでも議論されているが、私たちとしても火を付けるようなことを具体的にやろうということで、本日の機会となった。

ワークショップの目的と概要は、日本がこれから再生する過程で、ロボット技術が非常に重要になってくるということである。工業・産業用のロボットに関しては問題ないであろうが、サービス用ロボットとなると、色々と問題がある。各講演者に、どのようなところに問題があるのかお話しして頂こうと思う。

Slide No. 4

グローバル化・学際化の中で発展するロボット産業と日本の課題

本日の第1回ワークショップを出発点として考える時…

日本企業のICTリテラシー (アンケート調査回答率(%))

	既に活用	関心有り	効果不明	活用分野 無し	導入予定 無し	無回答
IoT	6	14	15	18	28	19
Big Data	3	13	13	19	32	20
AI	1	11	11	20	38	19
Robot	3	8	8	22	40	19
FinTech	1	5	6	22	43	22
Sharing Economy	1	4	8	20	44	23
3D Printer	3	10	9	20	39	19
Drone	2	7	5	23	43	19
Electronic Tag	2	11	9	19	38	20

資料: 東京商工会議所 「生産性向上・ICT活用状況に関するアンケート調査結果」 2017年3月

Jun KURIHARA, Canon Institute for Global Studies (CIGS)

2017年3月に東京商工会議所が発表したアンケート調査結果によると、IoT を初めとするICT がマスコミを賑わしているが、人材がいがないために、それを実際に活用することができていないという状況を読み取ることができる。ドイツでは中小企業向けプロジェクト等が進められているが、日本は果たしてどこまでできるのか。今後、更に研究を進めていきたいと考えている。